

平成22年 第5回江田島市議会定例会一般質問〔9月〕

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1 胡子 雅信	(1) 災害時などでのインターネット・メール活用と防災行政無線について	(1) 江田島市消防本部予防課が平成19年11月9日から市民の安心・安全を目的に「災害情報メール119」という、Eメールによる配信サービスを開始しています。 ① 21年、22年の豪雨災害でのメール発信回数は。 ② 登録されている団体・個人件数は。 (2) 江田島市は現在、ホームページ（以下、HP）で災害・緊急情報を公開し、リンク先として気象情報（広島県防災WEB）、気象庁HP（台風情報）を掲載しています。 ① 情報の更新はリアルタイムになされているか。 ② 防災行政無線の補完機能としてツイッターの利用は検討できないのか。（例 宮城県気仙沼市危機管理課） ③ 防災行政無線のデジタル化に向けて、個別受信機を自治会・自主防災組織単位で無償配布できないか。	市長
	(2) 持続可能な江田島市を描く職員意識の向上について	持続可能な江田島市を掲げ、市民との協働のまちづくりを目指している江田島市です。市民の協力も必要ですが、職員のやる気の向上も不可欠な要素です。 ① 意識改革をどのようになされているのか。 ② 部署横断的な市長直轄のチームを編成してはどうか。（持続可能な江田島市を描くチーム） ③ 積極的に地域に飛び出す（地域活動への積極参加）職員の育成についてどう考えるか。（仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をする。） ④ 自治体学会などの研究会・セミナーなどに自主的に参加する職員はおられるかどうか。（自己啓発のための有給休暇消化はあるか。）	市長
2 野崎 剛睦	市総合計画・実施計画について	実施計画は、基本計画で示した諸施策のなかから、今後5年間に、財政を見極めながら実施していく事業計画で、市政運営の基軸になりますので、市民サービスの視点から質問をします。 ① 事業番号12 能美中学校校舎新築事業 計画によると平成24年度から25年度に、現校地に建替え新築になっています。つきましては、三高中学校は、第2次学校統合検討委員会によれば、能美中学校校舎建設の時期を目処に、能美中学校に統合する答申が出ています。しかし、地元各方面から三高中学校存続の声が上がっていますが、存続の方向性は見出せないのか、お伺いします。 ② 事業番号37 釣附地区農地造成事業 以前に、県と共同で農業用地造成を調査しましたが、農業に足りうる水源がないことで中止になりました。水量・水質の見通しがついたのか、またオリーブの作付けのみか質します。 ③ 事業番号51 カキ筏処理施設設置事業 カキ養殖から発生する発ぼうスチロール浮及びプラスチックパイプゴミを処理する施設を早期に着手することができないのかお伺いします。 ④ 事業番号99 障害者自立支援特別対策事業 事業番号100 心身障害者就労促進事業 両事業は、平成23年度で事業完了となっているが、それを補完する施策をお伺いします。 ⑤ 事業番号158 市公共交通協議会負担金事業 海上交通の充実は、市民要望の第1位にあがっています。全航路に対して、航路維持のために支援施策が出来ないのかお伺いします。	市長
3 沖元 大洋	西能美航路の運航等について	四町合併は格差の無い社会を作り、江田島市民は誰もが平等に行政のサービスを受けられる。フェリーの廃止はたとえ試験運航であれ、弱者への切り捨てである。老人や子ども達のため今一度努力を試みることは出来ないものか。次の点について伺う。 ① 税金は誰のため、何の目的に使われているのか。 ② 旧能美町時代には、昭和56年度からおおよそ20年間くらい運賃を上げずに、町民のために頑張って運航してきたのに、合併して江田島市になったら、なぜ今までのような運航が出来ないのか。旧能美町の住民は納得できないものである。 ③ たとえ試験運航であっても、芸備商船に統廃合しても先で芸備商船が倒産した場合は誰が責任を取るのか。 ④ 会社が倒産した後の船の運航は、誰がどのように運航して、市民の通勤・通学の足を守り、確保してくれるのか。 ⑤ 市営の交通船は、毎年大きな赤字を出しているが、他の交通船の会社が市営船と同じように運航して、赤字が小さく頑張っているのは、ひとえに企業としての努力を一生懸命してい	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
		<p>るからではないのか。なのにどうして市営船はフェリー航路の廃止に追い込まれるのか。私がいつも言っている言葉、努力、汗をかく、一生懸命に頑張る、親方日の丸はこの3原則を忘れていると思う。これからの市営船運航、航路廃止ありきが前提ではなく、どのように市民のために役立っていくのか答弁を求めます。</p>	
4 大石 秀昭	(1) 観光スポットの整備について	<p>先日8月12日・13日と岡山より子ども達が墓参りに帰省した際、江田島市の観光スポットをインターネットから引き出し、砲台山・陀峯山の見学に行ってきましたが、砲台山は草木が生い茂り、歩くところもなく、インターネットでの紹介写真とは大きく違っていました。また陀峯山においても同じ状況で清掃が行き届いていないため、車で走行中、枯れ枝が車の下に引っかかり路面との摩擦熱で発火し大変危険な目に遭いました。観光スポットとして紹介するなら、定期的に草刈り（下草）、枝打ち等行い、気持ちよく観光できるように、早急に整備すべきと思いますが、市長の考えを伺います。</p>	市 長
	(2) 交通船の身体障害者割引等について	<p>身体障害者手帳（二種）のある人はフェリー代620円の半額310円で乗船できました。しかしながら、10月からの実証運航では高速艇しか利用できず310円+310円（急行料金）で620円になり、310円の負担増になります。こうした弱者に対する負担増について市長はどのような考えを持っておられるのか？</p> <p>また、市長は3月の一般質問で通院助成について考慮すると答弁されているが、どのような対策を考えているのかお伺いする。</p>	市 長
5 片平 司	(1) 公民館使用料について	<p>公民館の使用料減免基準の見直しにより10月から有料となります。自主サークルの方々が今後のサークル活動を維持するか解散するか困惑しておられます。広報及びそれぞれの地区での説明会がありましたが、納得できないとの多くの声が届いています。自主サークルは市民の健康維持と生きがい、そして児童の健全な育成に大きな役割を果たしています。市行政として支える事は当然の事であり、重要な施策として位置付け、現状の活動が維持できるように対応すべきと思うが、市長の見解を求めます。</p>	市 長
	(2) 地上デジタル化について	<p>2011年7月24日以降アナログ放送は終了し、デジタル放送へ移行します。地デジ受信機普及や共聴施設の設置が大きく遅れています。地デジが進まない理由は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 費用が高額で個人負担が大きいことです。全国消費者協会の調査によれば「地デジ対応にかけた費用は」10万円～50万円が70%で平均額は27万円です。 2. 経済的に厳しい世帯の遅れです。総務省が3月に実施した調査では、地デジ対応受信機の普及率は、年収200万円以上では8割を超えています。200万円未満では67%と差が大きく経済的に厳しい世帯への支援が課題となっています。 3. 共聴施設のデジタル化対応の遅れがあります。 <p>江田島市内においてテレビ難民を生じさせないための対策を国に求めると同時に市として今後どのように対応するつもりなのか、お伺いする。</p>	市 長
	(3) デジタル化に伴う防災無線について	<p>江田島市は防災行政無線がH22年度よりH23年度にかけて、アナログ方式からデジタル化にされます。江田島町・能美町を初め順次整備着手される予定ですが、現在自宅に個別受信機を設置されている方々に対してどのように予定されていますか。また新規に設置をしたいとの声が多く寄せられていますが、希望されている方々への対応はどのように考えておられるのかお伺いする。</p>	市 長
6 登地 靖徳	呉ー広島道路無料化に伴う開発計画は	<p>6月28日呉ー広島間の高速道路が無料化となりました。これに伴い自動車や人の流れに変化が起きてきていると考えられます。海上交通に関してはマイナス要因が考えられますが、江田島市への入込客（主に自動車による）は増加傾向に転じるものと予想されます。このことは江田島市の開発にとって願ってもない好機であると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>開発計画が考えられるとしたらどんなものがありますか。</p> <p>更には開発に関する助成策があればお聞かせください。</p> <p>以上おうかがいします。</p>	市 長